

令和5年度 第1回 政策決定会議 会議録①

-
- ◆開催日時：令和5年5月15日（月） 10：00～10：15
 - ◆開催場所：市長公室
 - ◆出席委員：永野市長、堤副市長、大下教育長
 - ◆説明者：残総務部長、櫻井IT推進課長、林主幹(DX推進担当)
-

◆審議事項

行政DX推進委員会の設置について・・・・・・・・・・・・・・・・・・IT推進課⇒承認

◆審議概要

◎説明者から、案件及び政策調整会議における議論の内容を説明し、政策調整会議にて、本件原案のとおり承認された旨、報告。

◎報告後、質疑応答

〈堤副市長〉情報関連技術は急速に進化している。日進月歩の世の中の状況に対応できるよう、変化を注視しながら行政DX推進計画の年内策定に努め、来年度予算に反映させること。既に税もキャッシュレス決済が進んでいるところだが、今後はあらゆる行政手続を、市民がスマートフォンで行えるようになることを期待している。便利なものなので、市民リテラシーを高めていかなければいけない。市役所までの“移動”が必要なくなることで、脱炭素やSDGsにも大きく貢献し、スマートシティの実現にも大きく近づく。

デジタル庁が「誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化」を謳っているように、市民一人ひとりがわかりやすいようデジタルに対応した手続については、一元化した情報発信をしていく必要がある。

昨今話題となっているChatGPT等の新たなサービスの適正利用のため、市職員向けの利活用に係る「ガイドライン」を策定されたい。

〈教育長〉市のめざす行政DXについて、この委員会を通じて庁内での意思統一を図ることが必要。

〈市長〉3つの委員会が1つに整理統合され、組織がシンプルになったように、全てシンプルにしていくことで、みんながついてきやすくなり、進むようになる。新たな概念等が追加されることで、行政は複雑化しがちであるが、いかにシンプルにしていくかが重要。引き算の改革を進めてもらいたい。

〈総合政策部長〉本案件について、原案のとおり承認してよろしいか。

【異議なし】

⇒本件を原案のとおり承認する。

政策調整会議付議依頼書

依頼者名 総務部長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

記

付議事項名	行政DX推進委員会の設置について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、簡潔に記載すること。)	行政DX推進計画の策定及び行政DX推進していく必要があり、情報システム委員会、情報セキュリティ委員会、情報化推進委員会を整理統合し、政策決定会議における専門委員会として、行政DX推進委員会を設置する。
説明者	櫻井IT推進課長 林主幹
付議事項の概要	様式別紙に記載(必ず別紙様式をご提出ください。)

別紙

付議会議	令和5年度 第2回会議
付議事項	行政DX推進委員会の設置について

★取組の目的

対象	庁内
どのような状態を目指す	デジタル技術やデータを活用して、住民の利便性を向上させるとともに、デジタル技術やAI等の活用により業務効率化を図り、人的資源を行政サービスの更なる向上に繋げていく。

★総合計画上の位置付け

6020205	基本目標	みんなで作る持続可能なまち
↑ここにコードを入力 (コードは「将来ビジョン・岸和田(体系)シート」を参照)	個別目標	持続可能で信頼される行政になっている
	個別目標の方向性	② 適正で効率的かつ効果的な業務の実施を進める
	行政の役割	ICTを活用し、効率的に事務を行う

★現状と課題

限られた予算の中、組織の壁を越えて、行政のDXを推進するためには、効果的な推進体制の構築が不可欠である。しかしながら、現在、情報システム委員会、情報セキュリティ委員会、情報化推進委員会があり、行政DX案件でそれぞれ委員会での決定が必要となった場合、意思決定が非常に効率的でない。効果的な推進体制とするため整理統合が必要である。

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項	決算(見込額)		予算額	見込額					
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
DX外部デジタル人材活用			2,400	1,200	1,200				
RPAライセンス・研修			1,518	1,518	1,518	1,518	1,518	1,518	
ノーコードツール導入・伴走支援			5,165	5,165	5,165	5,165	5,165	5,165	
汎用電子申請サービス			2,144	2,144	2,144	2,144	2,144	2,144	
財源内訳	国費								
	府費								
	起債								
	一般財源			11,227	10,027	10,027	8,827	8,827	8,827
	その他								
事業費			計	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
			46,535	10,027	10,027	8,827	8,827	8,827	

★当該事項に関連する人員増の必要性*

人員増の必要性	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
無					

★取組の効果を表す指標

指標名	単位	R3年度	R4年度	R5年度	目標値				
					R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
① 行政DX推進委員会・作業部会開催回数	回			3	2	2	2	2	2
②									

※事業費及び人員を確約するものではない。